

第25回 電気システムセキュリティ特別技術委員会
議事録

日 時： 令和2年 9月 2日 (木) 10時00分～12時00分

場 所： 電気学会 webex 会議

出席者： 福井委員長, 山崎 (健) 委員 (A 部門代表), 蘆立委員 (B 部門長), 渡辺委員 (B 部門代表), 森委員 (C 部門長), 澤田 (賢) 委員 (C 部門代表), 水野 (小林委員) 代理 (D 部門代表), 澤田委員 (E 部門長), 笹岡委員 (E 部門代表), 瀬戸委員 (2号委員), 横山委員 (2号委員), 芹澤委員 (2号委員), 桂 (慶応義塾大学・オブザーバ), 藤原 (電気学会・オブザーバ), 本庄幹事 (敬称略), 以上15名

配付資料：

- 資料25-0 第25回 電気システムセキュリティ特別技術委員会 議事次第
- 資料25-1 電気システムセキュリティ特別技術委員会 委員名簿
- 資料25-2 第24回 電気システムセキュリティ特別技術委員会 議事録 (案)
- 資料25-3-1 「自律走行システムにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会」経過報告
- 資料25-3-2 「防災・減災のための電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会」経過報告
- 資料25-3-3 「IoT 普及・拡大に向けたシステムセキュリティ特別調査専門委員会」経過報告
- 資料25-4 令和3年 電気学会 全国大会 シンポジウム関連資料
- 資料25-5-1 『安全・安心社会の電気エネルギーセキュリティ』の一部修正について
- 資料25-5-2 『安全・安心社会の電気エネルギーセキュリティ』の修正箇所抜粋

議事概要

1 開会挨拶

福井委員長より、開会にあたり挨拶があった。

2 委員紹介

資料25-1の委員名簿を確認し、出席委員の自己紹介を行った。

3 前回議事録の確認

資料25-2に基づき、令和元年6月27日に開催された第24回委員会の議事録(案)について確認を行い、承認された。

なお、第24回委員会で承認された幹事の増強については、新型コロナの影響で委員会がリモート開催になるなど状況が大きく変化していることから、当面一人体制を継続し、増強の要否について改めて検討することとした。

4 特別調査専門委員会からの活動状況報告

4-1 「自律走行システムにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会」(瀬戸委員)

資料25-3-1に基づき、これまで開催された委員会での検討状況について報告があった。

新型コロナの影響を考慮し、委員会の調査期間の1か年の延長の提案が行われたが、協議の結果2018年12月から2021年12月までの3か年(9か月間の延長)とすることが承認された。

(福井委員長) 自律と自動の考え方の違いを含め、特別調査専門委員会の対象範囲について確認したい。

(瀬戸委員長) 自動車だけではなくドローンも検討対象とするために自律走行システムとしている。鉄道も検討対象に含めているが、船舶や航空は対象外としている。自動車の場合、システムとドライバ

一が運転をいつでも交代できるレベル3までを検討の対象としている。

(瀬戸委員長) 新型コロナの影響で委員会をリモート開催としているが、リモートでは顔を出せない委員もあり、委員会運営に支障をきたしている。このため1か年の期間延長をお願いしたい。

(本庄幹事) 運営要綱によると、委員会の設置期間は3年以内となっている。

(瀬戸委員長) 新型コロナの影響が見通せないことから、規定通り2021年12月までとしたい。

(福井委員長) さらに延長の必要が生じた場合は、第I期・第II期と分けることも検討いただきたい。

4-2 「防災・減災のための電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会」(横山委員)

資料25-3-2に基づき、これまで開催された委員会での検討状況について報告があった。

設置趣意書の改訂、調査期間の3か月間の延長、委員の増強について提案が行われ、委員会内に設置される3WGの役割、各WGを担当する委員を設置趣意書に追記することを条件に、提案通り承認された。また、令和3年電気学会全国大会でのシンポジウム開催提案が行われた。(議事5で別途協議)

(横山委員長) 北海道のブラックアウトを契機に設置したが、房総半島台風等の近年の大規模な災害も調査対象に加えるため、設置趣意書を改訂し、調査期間の3か月間の延長、3WGの設置、および委員の増強を図りたい。

(福井委員長) 設立趣意書に各WGの役割、および担当する委員を追記いただきたい。

4-3 「IoT普及・拡大に向けたシステムセキュリティ特別調査専門委員会」(芹澤委員)

資料25-3-3に基づき、これまで開催された委員会での検討状況について報告があった。

(芹澤委員長) 今年度C部門大会での企画セッションを検討していたが、新型コロナの影響によりC部門大会自体が1年延期となったため、来年のC部門大会にて企画セッションを目指したい。

5 全国大会シンポジウムへの対応について(10月16日締切)

資料25-4に基づき、令和3年電気学会全国大会シンポジウム開催是非について協議を行った。新型コロナの影響により特別調査専門委員会の活動に制約があることを鑑みて、特別技術委員会としての全体シンポジウムの開催は見送り、「防災・減災のための電気エネルギーセキュリティ」特別調査専門委員会のみ、資料25-3-2の形で単独シンポジウムを提案することとした。

(瀬戸委員長) 前回の電気学会全国大会以降の活動に制約があることから、今回は見送りたい。

(横山委員長) 大規模災害に関連するテーマであり、緊急性が高いことから、単独でのシンポジウム開催を行いたい。

(芹澤委員長) 活動成果は令和3年のC部門大会での公開を目指しており、令和3年の全国大会は見送りたい。

(福井委員長) 今年は新型コロナの影響により、特別調査専門委員会における調査の進展が難しいことから、特別技術委員会としての全体シンポジウムについては、今回の令和3年は見送り、次回の令和4年を目指したい。

6 その他

- ・「安全・安心社会の電気エネルギーセキュリティ」特別調査専門委員会のとりまとめ報告書の一部修正について電気学会事務局の藤原オブザーバから紹介があった。

(藤原オブザーバ) 読者からのご指摘を受け、報告書の一部記述内容を修正するとともに、修正ポイントや修正後の報告書を電気学会ホームページの当該ページに掲載した。

- ・次回の本委員会は令和3年3月の電気学会全国大会前後での開催とし、日程は別途調整することとした。

以上